

様式第1（第3条関係）（表面）

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置（使用、変更）届出書

〇〇年〇月〇日

宇都宮市長 殿

届出者

郵便番号() 電話番号()

(氏名又は名称及び住所ならびに法人にあってはその代表者の氏名)

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）~~の規定により、特定施設（有害物質貯蔵指定施設）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇株式会社 △△事業所	※整理番号		
工場又は事業場の所在地		〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市△△1-2-3	※受理年月日	年 月 日	
第5条第1項関係	特定施設の種類	65 酸又はアルカリによる表面処理施設 66 電気めっき施設	特定施設については、市HP掲載の『(水質汚濁防止法) 特定施設一覧表』参照		
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>			
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考		
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。			
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。			
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。			
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。			
△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。				
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。				
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類	/			
	△有害物質使用特定施設の構造				別紙7のとおり。
	△有害物質使用特定施設の使用の方法				別紙8のとおり。
	△汚水等の処理の方法				別紙9のとおり。
	△特定地下浸透水の浸透の方法				別紙10のとおり。
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統				別紙11のとおり。

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
 - 9 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあつてはその代表者）が署名することができる。

有害物質使用特定施設の場合、別紙2（使用の方法）については、以下の点に留意すること

届出様式においては義務とはなっていないが、管理要領、点検頻度、同等以上の点検の内容などについて、必要に応じて添付することが望ましい。

その他参考となるべき事項の欄には、有害物質使用特定施設の場合において、有害物質の製造、処理を行っている場合には、製造、処理を行っている有害物質の種類を記載することが望ましい（届出がなされた特定施設のうち、どの施設が有害物質使用特定施設になるかを把握するため）。なお、有害物質を使用している場合、原材料の欄に記載される場合には、改めて記載する必要はないが、記載されていない場合にはその他参考となるべき事項の欄に記載する。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	B-1	B-2
特定施設番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	66 電気めっき施設
型式	浸漬式 (△△△社製 CM-5)	全自動バレル回転式 (△△△社製 ZB-A1)
構造	鉄製、内部を塩化ビニールライニング（構造図は資料〇のとおり）	鉄製、内部を塩化ビニールライニング（構造図は資料〇のとおり）
主要寸法	槽寸法 ・酸浸槽1m×1m×1.5m×1槽 (液量〇m ³)	・装置全体で 1m×10m×1.5m (各槽の寸法は資料〇のとおり) (液量〇m ³)
能力	ねじ 3,000個/日	ねじ 5,000個/日
配置	めっき工場棟1階 (配置は、資料〇のとおり)	めっき工場棟1階 (配置は、資料〇のとおり)
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇年〇月〇日	〇年〇月〇日
工事完成予定年月日	〇年〇月〇日	〇年〇月〇日
使用開始予定年月日	〇年〇月〇日	〇年〇月〇日
その他参考となるべき事項	・床面は厚さ100mmのコンクリートの上に、表面をエポキシ樹脂で被覆（耐薬品性については、資料〇のとおり） ・周囲には防液堤を設置（容量〇m ³ ）	・床面は厚さ100mmのコンクリートの上に、表面をエポキシ樹脂で被覆（耐薬品性については、資料〇のとおり） ・周囲には防液堤を設置（容量〇m ³ ）

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要な機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設の場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。防液堤等については、可能な場合には容量を記入すること。

特定施設の設備

本様式は、有害物質使用特定施設に該当する場合のみ。

工場又は事業場における施設番号	B-1	B-2
特定施設番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	66 電気めっき施設
設備	地上配管	地上配管
構造	地上配管 ステンレス製	地上配管 塩ビ製
主要寸法	地上配管 直径100mm×30m	地上配管 直径80mm×20m
配置	めっき工場棟1階 (配置は、資料〇のとおり) ※平面図, 断図等	めっき工場棟1階 (配置は、資料〇のとおり) ※平面図, 断面図等
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇年〇月〇日	〇年〇月〇日
工事完成予定年月日	〇年〇月〇日	〇年〇月〇日
使用開始予定年月日	〇年〇月〇日	〇年〇月〇日
その他参考となるべき事項	配管の耐薬品性については、資料〇のとおり。	配管の耐薬品性については、資料〇のとおり。

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には
- 2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を

配管については、地下配管（トレンチ）、地下配管（埋設）などのケースも考えられる。トレンチの場合はトレンチの構造についても記載すること（トレンチの材質、耐性、大きさ等）

「設備」の欄には、施設に付帯する配管等、排水溝等の設備の名称を記載すること
「構造」の欄には、設備の材質を記載するとともに、検知設備を有する場合にはその旨記載すること
「主要寸法」の欄については、設備のうち、主なものについて寸法を記載すること
「配置」の欄については、建物の名称・位置等を記載するとともに、地下に設置されている場合にはその旨を明記すること。
有害物質を含む水が流れない（検出されない）場合には、構造等に関する基準が適用されないので、その他参考となるべき事項の欄にその旨記載すること。

特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号		B-1		B-2	
特定施設番号及び名称		65 酸又はアルカリによる表面処理施設		66 電気めっき施設	
設置場所		めっき工場棟1階 (配置は、資料〇のとおり)		めっき工場棟1階 (配置は、資料〇のとおり)	
操業の系統		〇〇処理を行う ※原料から製品までの製造工程のフローシートを添付し、工程における特定施設を他の施設と区分する。		▲▲めっきを行う	
使用時間間隔		週に2～3日程度使用し、使用時間帯は不規則		10時～16時	
1日当たりの使用時間		4時間		6時間	
使用の季節的変動		なし		6月中旬～7月中旬 100%稼働 12月中旬～1月中旬 30%稼働 その他 70%稼働	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		脱脂： 水酸化ナトリウム溶液(〇%) OL 酸洗い： 塩酸溶液(〇%) : OL 化成： リン酸亜鉛 : OL		※特定施設を含む作業工程において使用する原材料について記載（商品名は不可、やむなく商品名を記載するときは、MSDSを添付すること。）	
汚水等の汚染状態	種類・項目（単位）	通常	最大	通常	最大
	pH	〇～〇	〇～〇	〇～〇	〇～〇
	BOD	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L
	COD	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L
	SS	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L
	有害物質等（該当する場合）	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L
汚水等の量（m ³ /日）		通常	最大	通常	最大
		〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
その他参考となるべき事項		※当該特定施設で製造、使用、処理する有害物質の名称（法施行令第2条）を特記すること。（例、ふっ素及びその化合物、鉛及びその化合物等） ※当該特定施設以外の施設及び工程等で有害物質を使用している場合は、その旨も記載。			

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載してください。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	C-1								
処理施設の設置場所	資料〇のとおり				※排水処理施設の場所を記載				
設置年月日	〇年〇月〇日								
工事着手予定年月日	年	月	日	年	月	日	年	月	日
工事完成予定年月日	年	月	日	年	月	日	年	月	日
使用開始予定年月日	年	月	日	年	月	日	年	月	日
種類及び型式	物理化学的処理				生物処理, 物理化学的処理等, の大別を記載				
構造	塩ビ製地上式				コンクリート製・鉄製・地下式等, 構造概要を記載				
主要寸法	〇m×〇m×〇m				縦×横×高さ又は, 〇m ³ と記載				
能力	〇m ³ /日				処理能力を記載				
処理の方式	凝集沈殿処理				排水処理の方式を記載				
処理の系統	中和→凝集沈殿→排水				処理工程に従い, フローシート, 使用薬品, 水量を記載				
集水及び導水の方法	自然流下(塩ビ配管)				汚水等の集水及び処理施設までの導水方法を記載				
使用時間間隔	〇時~〇時				連続, 〇時~〇時/日, 1日〇回等と記載				
1日当たりの使用時間	〇時間				1日当たりの使用時間を通算して記載				
使用の季節変動	〇月~〇月 〇時間, 〇月~〇月 〇時間				使用方法に季節変動があれば記載				
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	水酸化ナトリウム 〇kg 塩酸 〇kg 高分子凝集剤 〇kg				中和, 凝集, 酸化等, 反応の用途別1日当たりの使用量を記載				
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目(単位)	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	〇~〇	〇~〇	〇~〇	〇~〇				
	BOD	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L				
	COD	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L				
	SS	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L				
有害物質等(該当する場合)	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L	〇mg/L					
量(m ³ /日)	〇	〇	〇	〇					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	設備系汚泥 〇〇Kg(脱水汚泥)/月								
排出水の排出方法	〇〇川に排出				排出先を記載				
その他参考となるべき事項									

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載してください。
2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載してください。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号 (排水口の名称)		総合排水口			
排水水の汚染状態	種類・項目(単位)	通常	最大	通常	最大
	pH	〇~〇	〇~〇		
	BOD	〇mg/L	〇mg/L		
	COD	〇mg/L	〇mg/L		
	SS	〇mg/L	〇mg/L		
	有害物質等(該当する場合)	〇mg/L	〇mg/L		
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		〇〇	〇〇		
その他参考となるべき事項		※排水口別に記載 ※排水先が道路側溝等を経て河川に放流される場合は、詳細に記載 ※雨水のみ公共用水域に排出する場合はその旨記載。			

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排出基準に定められた事項について記載してください。

用水及び排水の系統

用水及び排水の系統	<p>ア 事業場全体の配置 イ 給水系路 ウ 排出水の排出経路 (色分けしてください) エ 雨水専用排水路 オ 処理施設の設置場所 カ 特定施設の設置場所 ア～カまでを記した図面を添付してください。</p>		
	用途別 用水使用量	用途	使用水
	原料用水	工業用水	〇〇
	洗浄水	上水道	〇〇
	生活用水	地下水	〇〇
合計			〇〇

別添様式 1

(6-3) 定形的添付書類)

参 考 事 項

記載上の注意 1 届出等に係る工場・事業場の状況等について記載又は添付するものとし、番号は該当するものを○印で囲むこと。

2 届出書及びその別紙に記載又は添付している事項については、あらためて記載又は添付を必要としない。

届出等担当者 (連絡先)	氏名 ○ ○ ○ ○	所 属 ○ ○ ○ 課	電話 ○○○-○○○○
		部課名	FAX ○○○-○○○○
公害防止管理者	選任 1要 2不要	選任要 のとき	職・氏名 ○ ○ ○ ○ 試験又は 資格の区分 水質第○種
公害防止責任者	職・氏名 ※公害防止管理者の選任が不要な場合は、公害防止責任者を選任すること。		
従業員数	○○人	主 要 製 品 名 ○ ○ ○ ○	日本標準産業分類の 小分類番号・項目 ○ ○ ○ ○
特定施設メーカー名	○○○○		処理施設メーカー名 ○ ○ ○ ○
特定施設が関係する製造工程の概要 			
特定施設等を 設置する土地	用 途 地 域 ○○地域	敷 地 (既存面積 ○ ○ m ² 面積等 (新規・増加面積 m ² 登記地目)	
特定施設等を 設置する建物	新築 (床面積 ○○ m ²)	増改築 (床面積 m ²)	
工場・事業場 当初設置年月日	○○年 ○○ 月 ○○ 日	水質関係特定施設 当初設置年月日	○○年 ○○ 月 ○○ 日
排 水 先 (水質関係に係る届出 書に添付のときのみ 記載)	複数の排出口があり、異なる用水路・河川に排出される場合にはその全てについて記載すること 排出水の排出先の用水路名 (道路側溝) ↓ 排出水の排出先の河川名 (○○川)		
環 境 協 定 公 害 防 止 協 定	締 結 1 有 2 無	締結有 のとき	今回の特定施設等の 届出に関する事前協議 1要 2不要 事前協議 1 協議済 要のとき 2 協議予定
周辺における公害 苦情等の問題	現在解決して いない苦情 1有 2無	有のときは 1 ばい煙 3 汚水 5 騒音 7 その他 その区分 2 粉じん 4 悪臭 6 振動 ()	

その他、別紙として次の書類を添付する。

1 工場・事業場の平面図（建物、施設等の配置状況を記載し、今回の届出施設を朱塗すること。なお、汚水に

する届出等については、排出水の汚染状態を測定するための採水場所を記載、朱塗すること。）

2 工場・事業場の案内図（工場・事業場に至る経路を記載すること。）

3 ばい煙に関する届出書等については煙突立面図（主要寸法及び測定孔の位置を記載すること。）及び使用燃料の分析表

4 水質に関する届出書で特定有害物質を使用等する施設については、条例施行規則第17条の規定を遵守していることを明示した図面等

別添様式 2

(6-3) 定形的添付書類

特定有害物質の管理の方法

注1 土壤汚染対策法で定める特定有害物質を製造
 条例の汚水に係る特定施設並びにそれに付随す
 こと。

本様式は、土壤汚染対策法で定める「**特定有害物質**」を使用している場合のみ記載。

- 2 栃木県生活環境の保全等に関する条例施行規則第 17 条で定める特定有害物質管理基準に適合させること。
- 3 特定有害物質使用施設、原料置場、廃液置場、配管、防液堤等の場所が分かる図面等を添付すること。

工場又は事業場における施設番号	B-1, B-2	特定施設番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設 66 電気めっき施設
特定有害物質の種類	ふっ素及びその化合物、鉛及びその化合物	原材料等の製品名	○○○○○○
特定有害物質を含有する原材料等の使用方法等	薬剤は貯留タンクを経由して薬液槽へ送られる。 薬液槽内の薬剤は月 1 回交換し、産業廃棄物として業者委託により処分する。 1 次水洗水は産業廃棄物として業者委託により処分し、2 次水洗水は既存の排水処理施設にて処理し、その後公共用水域へ排出する。		
No	項目	現況又は特定施設設置(変更)後の状況	
1	特定有害物質使用施設設置場所の床の構造及び材質 (床表面の材質については、使用する特定有害物質に対する不浸透性及び耐薬品性が分かるような資料を添付すること)	別図及び別紙のとおり ※特定有害物質使用施設設置場所については、コンクリート構造、エポキシ樹脂コーティング	
2	薬液槽、水洗槽、原料置場、廃液置場等における防液堤または受槽の設置状況 (防液堤等の容量及びその容量に係る根拠についても記載すること)	別図のとおり 薬液槽(溶剤タンク)の容量 $A \text{ m}^3$ 水洗槽(1次+2次)の容量 $B \text{ m}^3$ 防液堤(受槽)の容量 $C \text{ m}^3$ $C = 1.2 \times (A + B)$ ※またはいずれかの最大容量	
3	薬液槽、配管、排水処理施設等における漏洩等の有無の確認方法 (地上設置以外の場合は、確認する場所なども具体的に記載すること)	目視により 1 日 1 回確認(別紙点検表参照) 特定有害物質使用施設等は地上設置 配管はすべてパイプ in パイプ	
4	特定有害物質使用施設に係る配管の材質及び識別方法 (配管の材質については、使用する特定有害物質に対する耐薬品性が分かるような資料を添付すること) (配管を色により識別する場合、どの色が何を表しているかも記載すること)	SUS, 塩ビ製 系統の名称をラベル表示	
5	土壤汚染防止に係る点検項目と点検頻度 (点検表等を添付すること)	施設等からの漏洩の有無 薬品の使用前後の量の点検 施設等の稼働状況(別添点検表のとおり)	
6	原料置場、廃液置場等の床の構造及び材質 (床表面の材質については、使用する特定有害物質に対する不浸透性及び耐薬品性が分かるような資料を添付すること)	別図及び別紙のとおり ※特定有害物質使用施設設置場所については、コンクリート構造、エポキシ樹脂コーティング	
備考			

水質汚濁防止法に係る届出の添付資料（参考）

資料の名称	備 考	対象			
		第 5 条 第 1 項		第 5 条 第 3 項	
		特 定 施 設	特 定 有 害 物 質 使 用 施 設	特 定 有 害 物 質 使 用 施 設	指 定 有 害 物 質 貯 蔵 施 設
<input type="checkbox"/> 工場案内図	事業所の場所がわかる地図	○	○	○	○
<input type="checkbox"/> 工場全体図	事業所全体（敷地境界線）が記載され、各施設の位置関係がわかる図面	○	○	○	○
<input type="checkbox"/> 施設の配置図	平面図に対象施設を明記し、施設番号・施設名称を記載 （特定施設、有害物質使用特定施設、有害物質貯蔵指定施設、汚水等の処理施設、有害物質を含む原料・廃液保管容器）	○	○	○	○
<input type="checkbox"/> 施設の構造図	大きさ、材質等がわかる図面。仕様書、カタログ類、写真等でも可。	○	○	○	○
<input type="checkbox"/> 施設の床面及び周囲の構造図	・防液堤、受皿、側溝等の大きさ、材質、構造、配置等がわかる平面図、断面図等。 ・有害物質に対して、耐薬品性があることを示す資料（メーカーのカタログ等）。	—	○	○	○
<input type="checkbox"/> 付帯設備の配置図	有害物質使用特定施設または有害物質貯蔵指定施設に付帯する設備（配管、排水溝、ためます等）の平面図及び断面図等。地上配管、地下配管かわかるもの。	—	○	○	○
<input type="checkbox"/> 付帯設備の構造図	・大きさ、材質、構造、配置等がわかる平面図、断面図等 ・有害物質を扱う場合、耐薬品性があることを示す資料（メーカーのカタログ等）	—	○	○	○
<input type="checkbox"/> 排水処理の系統図	排水処理工程のフロー図	○	○	○	—
<input type="checkbox"/> 排水処理施設の設計計算書	排水水が排水基準値を満たすことがわかるもの	○	○	—	—
<input type="checkbox"/> 特定施設等を含む操業の系統	製造工程フロー図等で、特定施設等に該当する部分を明記	○	○	○	○
<input type="checkbox"/> 用水及び排水の系統図	給水経路、排水の排出経路、雨水専用経路等の図面	○	○	—	—
<input type="checkbox"/> 有害物質の搬入搬出系統図	有害物質貯蔵指定施設に、搬入搬出する流れがわかるフロー図	—	—	—	○
<input type="checkbox"/> 使用する原材料等の成分表・MSDS等	原材料名を商品名で記載する場合は、MSDSを添付する	○	○	○	○
<input type="checkbox"/> 別添様式2（「特定有害物質の管理の方法」）	様式に従い記入。（*土壌汚染対策法の「特定有害物質」を使用している場合のみ）	—	○*	○*	—

○：添付，—：必要に応じて添付